# 災害時における新技術を活用した情報収集による 防災対応力の強化

~公共BB、i-RAS、Car-SATの通信機器配備による災害時の情報収集体制のご紹介~

中部地方整備局では、公共インフラ整備、維持管理の他、災害対応及び自治体支援として危機管理業務を担っており、危機管理業務の 中で主に情報収集を担う設備として、防災通信機器を整備している。

防災通信機器とは、地震災害、水害・土砂災害等において<mark>民間事業者回線の停止時などにおいても情報提供可能な設備</mark>である。 今般、新たな防災通信機器として導入した公共BB、i-RAS、Car-SATについて紹介する。

#### 防災通信機器(現状)の配備状況・問題点

現状、配備されているものは主に衛星通信車・KuーSAT・ヘリサットなどの衛星通信設備であり、静止衛星を <u>中継局として映像・電話等のデータ通信を行うもの</u>である。衛星を利用することで災害による影響を受けにくいメ リットがあるが、回線容量が小さい、山岳部・地上部の機動的な情報収集が困難などの問題がある。



#### 新たな防災通信機器の整備ついて

現状の問題を改善するため、無線通信を利用した新たな防災通信機器である公共BB・iーRAS・CarーSAT が導入された。特徴と利用方法について紹介する。

#### 公共BB(公共ブロードバンド無線素 ~山間部など、被災現場からのラストワンマイル通信に活用~

#### 公共ブロードバンド無線装置とは

- ●見通し外通信が可能 (約5km程度。障害物にも強く、市街地、山間地で利用可能。)
- ●移動しながら通信可能 移動しながらリアルタイムで映像・音声の通信ができます。
- ●既存設備との連携による機動的な情報収集を実現 従前からある衛星通信車・Ku-SAT等の衛星通信設備と連携 することで災害現場において機動的な情報収集を実現します。 性能
  - ●最大伝送距離:5km程度(見通し外通信が可能)
  - ●伝送容量 :1.5Mbps~6Mbps程度

# 見通しがきかなくても伝送が可能 被災現場 本局、自治体等 Internet

#### i-RAS(5GHz無線アクセスシステム) ~現場対策本部・市町村等への大容量通信に活用~

iーRASとは ※ integrated network Radio Access System

●長距離伝送が可能

(晴天時30km以上。見通しが必要。)

- ●国交省~自治体との臨時通信回線に利用可能 自治体庁舎等の現地対策拠点に執務室と同様の環境構築が できます。
- ●大容量且つ多様な通信が可能

カメラ映像、電話、メール、河川・道路情報の提供、テレビ会議 などの使用が可能です。

#### 性能



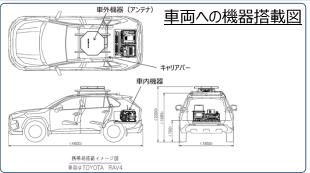
## Car - SAT(カーサット) ~衛星回線を使用して走行しながらリアルタイムの映像配信を実現~

# CarーSATとは ●ヘリサット技術を車に搭載し、移動中の搭載車両から通信衛星を介して リアルタイムの映像/音声/位置情報を通信することが可能 ※従来の衛星通信車は、移動しながらの通信は不可。

●TECーFORCEやリエゾン派遣途中の道路周辺状況等の把握が可能 (パトロールにも活用可能)

#### 【特徴】

- ⇒衛星を自動追尾する平面型アンテナを使用、移動しながら衛星通信を実現
- ⇒車両側での操作がほぼ無く、基地局からの操作制御のため、<mark>車両側に無線従事者を必要としない(車側は電源ONの操作のみで誰でも操作可</mark>)
- ⇒映像送信は車両側からのみ(電話により双方向通話可能)







本省 地方整備局等

### 中部地方整備局管内における防災通信機器の整備状況、まとめ

公共BBによる機動的な情報収集、i-RASによる国交省~自治体の大容量の臨時通信回線の構築等、Car-SATによるヘリサットで困難な地上部の情報収集など、今回、新たな機器の配備と既存設備との相乗効果により、災害時による情報収集の強化や支援の幅が広がった。

尚、機器の配備については、事務所・出張所の地形状況を踏まえ決定している。

今後は、運用シーン(利用状況)や要望等を踏まえ、増強についても併せて検討していきたい。

